

鬼石中だより



自立・貢献

藤岡市立鬼石中学校
令和7年度学校だより 第7号
令和7年9月17日
文責：校長 五十嵐

* 2学期がスタートしました 8/29 *

早いもので夏休みがあっという間に終わり、2学期がスタートしました。1学期終業式には、子どもたちが夏休みを有意義なものにできるよう、「自分の成長につなげるための目標を設定し、その達成に向けた取組を休まず継続しよう」という共通課題を、校長から鬼石中生全員に与えました。果たしてどうだったでしょうか。休まず継続するということは、本当に難しいことだということはいくつか分かっていきますので、一人でも多くの生徒が取組を粘り強く継続できるよう、『継続維持の4箇条』（鬼中だより第6号）も示しました。

この、掲げた目標を「達成するまで継続する」取組は、夏休みの終了と共に終わりではありません。実は、この取組は、むしろ夏休みの40日間がスタートで、これからが「鍛錬」の本番なのです。「千日の稽古を鍛とし、万日の稽古を練とす」という宮本武蔵の言葉のとおり、鍛錬とは「毎日の地味な基本の積み重ね」であり、「行動の徹底した継続」のことです。子どもたちには、夏休み中に取り組んだこの経験を原動力にして、2学期も、より高みを目指して（より高い目標を設定して）勉強や部活動で鍛錬を続けてほしいと思います。保護者や地域の皆様には、そんな子どもたちへのサポートを引き続きお願いいたします。

* 藤岡市・多野郡中学校英語弁論大会 9/11 *

9月11日（木）に、藤岡市総合学習センターで、令和7年度藤岡市・多野郡中学校英語弁論大会が行われました。本校からは、

さん（1年）、 さん（2年）、

さん（3年）が学校代表として参加しました。3名とも豊かな表現力で見事なスピーチを披露しました。各校代表生徒の発表は、内容・英語力共に年々レベルアップしており、審査員の方からは「順位はついたが、どの学年も僅差で、一人一人良さが十分に表れた素晴らしい発表だった」とお褒めの言葉をいただきました。

本校代表の3人はExcellent Prize（最優秀賞）入賞は果たせませんでした。学校代表にふさわしい立派な発表でした。



* 修学旅行(京都・大阪万博・奈良)へ行ってきました 9/7~9/9 *

9月7~9日に、3年生が修学旅行に行ってきました。猛暑の中でしたが予定通り京都・大阪万博・奈良を訪問することができました。今回の修学旅行は、日本の歴史と文化(京都・奈良)、そして未来(万博)を一度に体験できる、大変貴重な機会となりました。

3日間それぞれ違う場所で班別行動を行いました。連日35度を超える猛暑の中でしたが、熱中症や体調不良にならないよう、健康や安全に気をつけながら、班別行動を行いました。事前に立てた計画通りにいかない場面もあったようですが、班員同士で知恵を絞り、叡智を集めて、最善の判断をし、3日間の全ての日程で、全ての班が無事に、そして時間通りに、集合場所に帰着できたことは、大変立派でした。

そして何より、今回の修学旅行で嬉しかったことは、学校生活で日頃から意識している「日常の五心」を旅行中も積極的



に表現する生徒がたくさんいたことです。特に「感謝の心」については、お世話になった旅館や旅行会社の方々や、訪問先で対応して下さいった方々へ、言葉や行動で丁寧に表し、伝えることができました。旅先でも、一流の振る舞いをしっかりとできる鬼石中生を誇らしく感じました。



生徒たちの立派な振る舞いと、責任ある行動によって、「今日、全力で楽しめました」というスローガンが、生徒たちの最高の思い出を物語る言葉となり、この修学旅行が、素敵な中学校生活の思い出の1ページとなりました。

